

R7,9 たんぽぽぐみドキュメンテーション 「やりとり」

最近、Aくんは保育者が「ちょうどい」と言うと持っている玩具を渡し、保育者が「ありがとう。どうぞ」と玩具を返すやりとりをしている。室内あそびでAくんとマラカスであそんでいる時にBちゃんも側に来たので「Bちゃん Aくんにちょうどいだね」声を掛けるとAくんはBちゃんにマラカスを渡していた。



＜考察＞

日々のあそびの中で保育者と一対一で「ちょうどい」「どうぞ」のやりとりをして楽しんでいくことで自然と「ちょうどい」や「どうぞ」の言葉の意味が分かるようになってくることを感じた。Aくんは友だちにも興味が出てきて側で同じあそびをすることや真似をすることが増えてきている。

言葉の意味が分かるようになることで友だちとのやりとりへもつながっていくので保育者とのやりとりを丁寧に楽しみながら友だちともやりとりする機会を促していきたい。